

211物語

吉田 隆

三、ビジネスモデルの 確立に向けて

③市川営業所(中) 「バーコードシステム」始動!

「市川事務所」は平成8年4月、市川市京成鬼越駅近くのマンション「ガーデンハイム市川」で産声を上げた。初代市川事務所長は〇〇〇、現配送センター所長(NSHT)が務めることになった。会社の今後の運命を左右すると言っても過言でない肝心の営業始めの品目選定に当り、私は迷わず「生分解性プラスチックハンドブック」(1995年5月発行)を選んだ。発行後一年経過して販売数が落ち込んでいたものの、売り様によってはまだ相当数見込めると考えたためだが、その他に「超分子化学の基礎と応用」(1996年1月発行)、「分子機能材料と素子開発」(1994年10月発行)等、高分子分野に焦点を定めた戦術が当り、二ヵ月後の平成8年6月の売上げは早くも500万円の大台を突破し幸先のいいスタートを切ることができた。3ヵ月病“克服のための足掛かりをつかんだことを確信し、スタート時パート3名だった体制を半年後常時6名体制に補強した結果、開所一年四ヶ月後の平成9年8月には事務所が手狭となり、京成鬼越駅近くの「ジュネス八幡」の一階部分に転居すると同時に市川事務所を「市川営業所」と改名した。転居後もスタッフの増員を計り売上げが順調に伸びた結果、常時約十名体制となったが、その三ヵ月後一冊の本、即ち

「現代おさかな事典」の発行(平成9年11月)が市川営業所の役割に一つの転機をもたらすことになった。

「現代おさかな事典」は、およそ五年の歳月と五千万円を超える製作費をかけて取り組んだプロジェクトだった。制作を開始した平成5年5月は「講演録事業」を開始した時期と重なり、平成7年11月の「存亡の危機」に際しても制作の手を抜かずようやく発行を見た商品である。営業に当たっては、NTS初の自然系書籍であるため他の書籍との相乗せができないこと、及び頁数が千二百頁を超え、発行部数も五千部を数えたため本社内に在庫スペースを確保することが難しい等の理由で、市川営業所内に「お魚営業チーム」を結成するとともに、在庫及び発送管理を本社と完全に分離・独立して行なう等、営業・物流の一元管理体制を取ることにした。

一方、本社営業部においては平成3年7月の「表面」発行をきっかけに始めたコンピュータによる「顧客データ」管理が一つの転機を迎えていた。まず6年の歳月を経た、社業の拡大とともに増大する顧客データの量や処理速度及び2000年問題等への対応の必要性からそれまで使用していた「桐」を見直す時期に差し掛かっていた。同じく6年の歳月を経て、「表面」発行以来本一冊毎に添付し始めた「バーコードシール」が試読中のもものも含め、すべての書籍に添付される状況となり、バーコードにより一冊毎の個別管理をコンピュータ化する環境が整ったのである。「現代おさかな事典」は、そうした諸々の状況が重なり合う中で発行された。平成9年11月、五千万冊全てにバーコードシールを添付された「お魚」が先陣役となり、それまでの人手による本毎の個別管理を大幅に省力化するバーコードシステムが稼働を始めた。「お

魚」は期待に違わぬ売れ行きを見せ、四年後の現在、販売部数は四千部近くまで伸びている。

「バーコードリーダー」の購入は、それよりずっと以前の平成3年7月のことである。その頃、「3ヵ月病」と表裏をなすアポ先のバッテリー問題が、営業部最大の懸案事項だった。アポを増やしバッテリーを減らす難問対策として、コンピュータによる「顧客データ」管理に活路を見いだすことにした。また同時にそれまで本一冊毎に手書き番号で管理していたものを、四桁の通し番号をパソコンで管理することにより、作業は大幅に省力化されるはずであった。だが省力化のみならず、当時私が求めていた「顧客」と「営業」が一体化した、言いかえればアポ先のバッテリーに悩まない「顔の見える営業」がどうすれば実現するのか思い迷っていたある日のこと、発送スタッフが発送機を前に書籍を一個ずつてきぱきと梱包する様子を見つめるうち、ふいにスーパのレジに設置されたPOSシステムのバーコードリーダーの映像が眼前に浮かんだ。それは、返送本をリアルタイムかつ正確に管理することで営業の迅速さと正確さを図り、ひいてはアポ先のバッテリー対策としても有効な「顔が見える営業」システムの姿を象徴していたのである。さっそく「表面」から本一冊毎に四桁の通し番号に並べてバーコードシールの添付を始めたが、実際の稼働までに6年待つ必要があったのである。「お魚」から始動したバーコードシステムは、一年間の試運転の後新たな展開を見せることになった。

掲示板

●今月の人事
入社営業部営業二課

社内清掃について

次の日程で床掃除を行いますので、宜しくお願ひ致します。当日出勤予定がある場合は作業に支障がありますので、必ず総務部に連絡して下さい。

本社事務所内 12月23日(日)
営業部内 12月15日(土)

■年末年始の予定について

12月21日(金) 忘年会
12月28日(金) 仕事納め
12月29日(土) 1月6日(日) 年末年始休暇
1月7日(月) より 通常通り勤務

◆編集後記◆

- 常に来月の予定は、などと考えているとただでさえ月日の流れがはやいのに、倍速される気がいたします。もうお正月!(福)
- 天地人に入選しようと思ってもなかなか道のりが長そうです。(の)
- 郷土の一品という言葉で思い出すのは「石狩鍋」。味噌仕立てで、鮭の切り身が入って、はあ、んまいんだな、これが。(村)
- 「万人から愛される社内報とは?」の難問が頭を離れず不眠気味の毎日……のはずなのに、心はずでに忘年会モード。本日も泥酔・爆睡でカラ回り。(な)
- 最近「新人さんいらっしやい」コーナーが紙面を多く割くようになった。発行部数が増えてうれしいな。(伊)

NTSニュース二〇〇一年十一月十一号(通巻三十六号)
二〇〇一年十一月二十五日発行